

# 不良 in 彼女

～僕の彼女のカラダは  
フィッシュ  
不良男に乗っ取られました。



原作:皆月ななな 作画:倉塚りこ



# 不良 in 彼女

～僕の彼女のカラダは  
不良男に乗っ取られました。～

原作：皆月ななな 作画：倉塚りこ



違うの

やっぱり……  
僕じゃ  
ダメですか?

嬉しくて……

はっ



いい天気だね  
瑛一くん

そうだね  
瑠璃さん



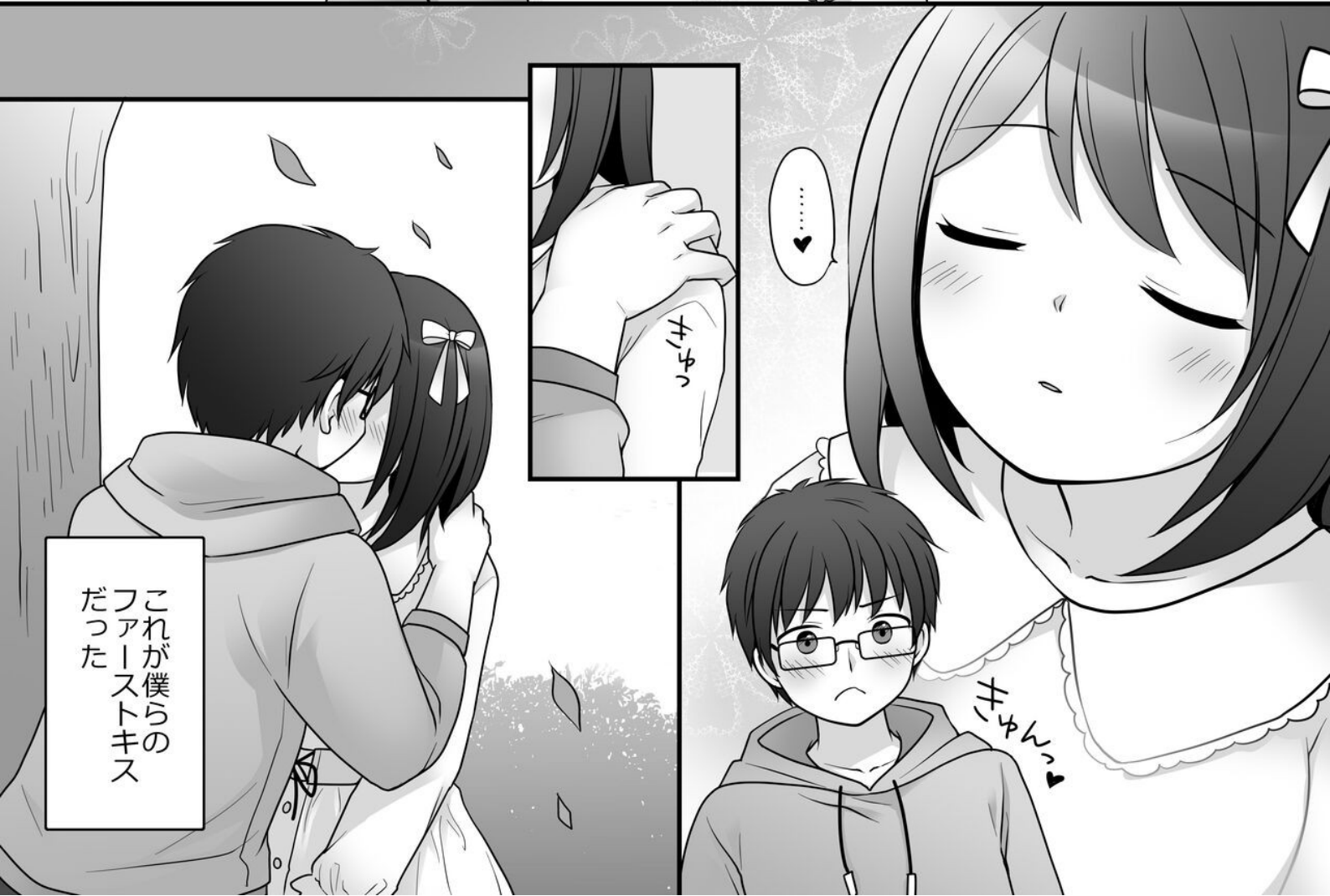
ハァァァ

こうして  
僕と瑠璃さんは  
付き合うことになった

そんなある日――



おいしい!





出席をとるぞ

井上

井上瑠璃

そしてこれが  
ある意味での  
最後のキスになるなんて

この時は、全く  
考えていなかったんだ――



珍しいな  
今日は休みか……

瑠璃さん……  
昨日のピクニックで  
風邪でも引いたのかな？

お見舞いに  
行ってやろう

隣のB組の大堀が  
バイクの事故で  
昨日亡くなったそうだ

え、死んだの？

あの不良、バイクで  
かつ飛ばしたもんね

自業自得じゃない？

えー  
今日は  
皆に残念な  
お知らせがある

ザワッ

えー

今日は

皆に

残念な

お知らせ

がある

大堀虎雄

僕たちの中では、学校にも来ずに  
暴走族の真似事をしている  
典型的な不良として知られていた

学校にたまに来てても  
暴力事件を起こしてばかりいる彼に  
同情する者は誰もいなかった

ガッ

キヤアア

瑠璃さん……  
心配だな

放課後

井上

ヒンポーン

あ……瑛一くん

こんにちは  
瑠璃さんは……

カッパ

上





結局、  
瑠璃さんが学校に来たのは  
それから一週間経っての  
事だった





ご家族によると  
少し記憶が曖昧な所が  
あるそうだから  
皆で助けてあげるように

えー  
長く休んでいた  
井上だが……  
今日から復帰する

記憶……!?

あの後結局  
瑠璃さんに連絡しても  
返事も返ってこないし……

はー  
だる……

……!

あ?  
誰だお前

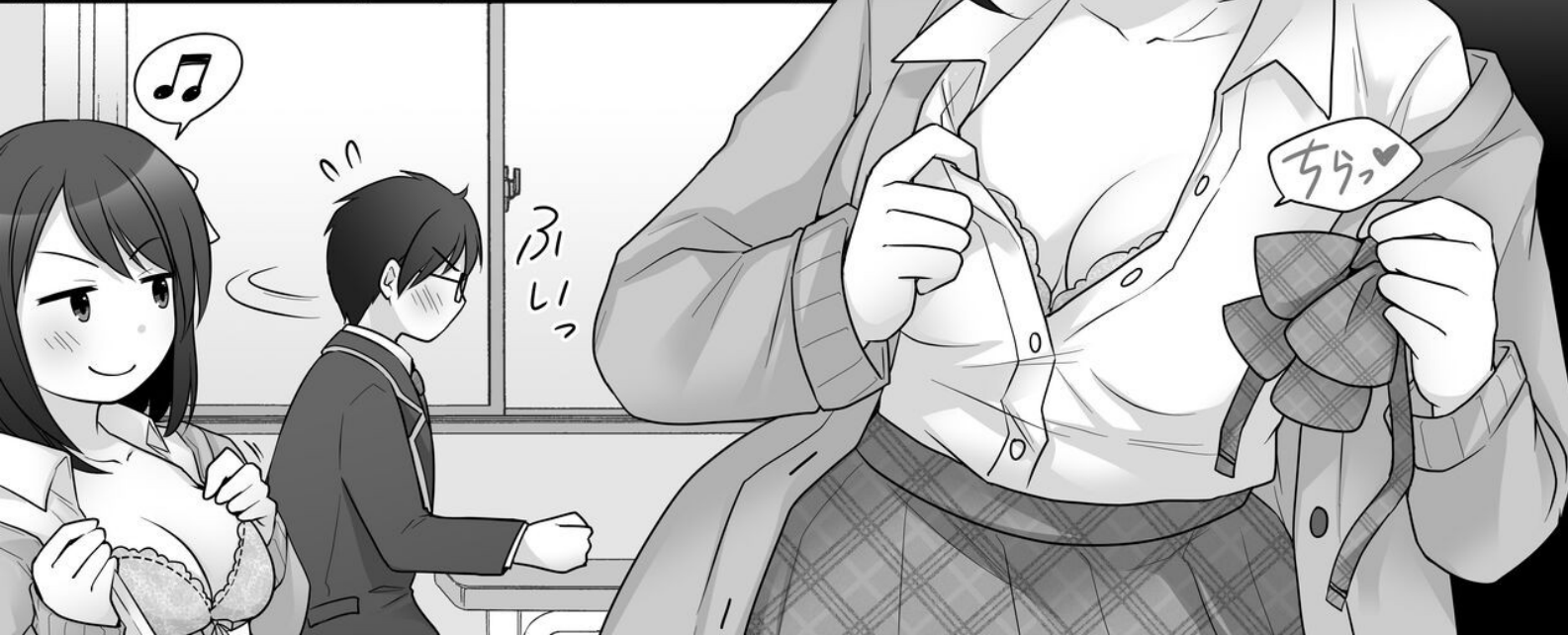
ド  
カ  
ツ

瑠璃さん……  
大丈夫だった?



それから  
誰の目から  
明らかに「変」  
だった

着くずした制服  
ニヤニヤとだらしなく笑う姿  
開いた脚……



にや……

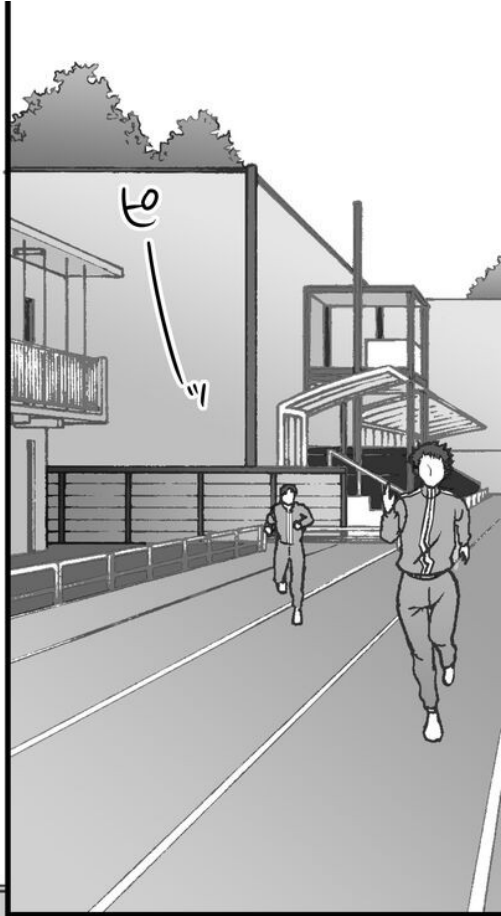
ちゅっ♡



ねえ、瑠璃  
どうしたんだろうね……

だよね  
さっきの着替え中も  
じろじろ見てきて

ふう

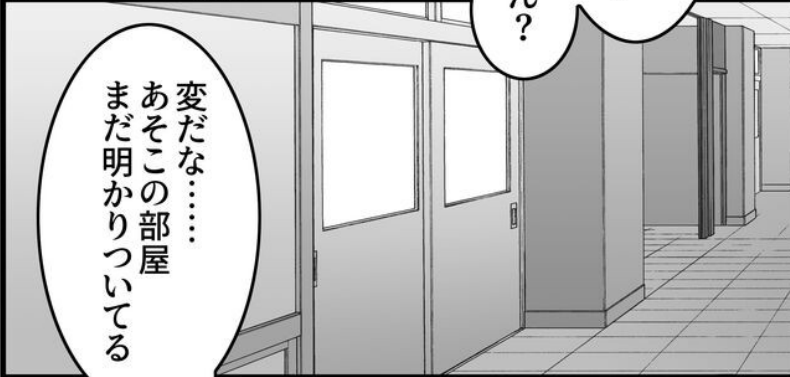


男に見られてるみたいで  
なんか気持ち悪かった……

……どうしちゃったんだ  
瑠璃さん

ニヤ  
ニヤ

ふん



おお……  
おお……





こんな可愛い女に  
チンポしごいて  
もらえる機会  
めったにないだろ？

ああっ  
瑠璃ちゃん  
すげー上手いよ……

おらっ  
早くいけよ

だろ？  
男にしごいて  
もらってるみたい  
だよなあ



るっ、瑠璃さん！  
何してるんだよ！！

ああ？  
お前は確か……  
佐藤？







バイク事故で死んだ俺は  
幽霊になって彷徨ってた

その途中で  
この女のカラダを見つけて  
中に入れるんじゃねえかと思って  
入ってみたんだ



ど  
ぶっ

!?



私の中に  
何が、入って……

私が私じゃ  
なくなっちゃう……

い、いや……

たす、けて……

えい、……



俺は大堀虎雄だよ

事故って死んだことにな  
ってるけどな

なんだと……

で、俺は  
この女のカラダを  
乗っ取ったってわけだ

わかったか？  
佐藤くん♡

そんな……  
何かの  
間違いだ！

瑠璃さん  
暗示か何かにかか  
つてゐるんだ！  
目を覚ましてくれ

ほー  
信じねえのか？

こんなことを  
してもか？

なっ……

触ってもいいんだぜ？  
彼女なんだろう？お前の

むわっ





いいんだぜ？  
男の力なら今の俺なんか  
はねのけられるだろ

でもいいのなあ？  
この女とやるチャンス  
だぞお？

……ううっ

ははっ！  
抵抗しねえのかよ  
男とやりてえのか  
お前？

それじゃ  
お望み通りっ……





だ、黙れ……

へっ、そんな口利いてられるのも今のうちだぞ？

俺もいい感じに濡れてるし、いくぞ

ずぶぶ……  
うっ……



うわ……お前結構デケエじゃん顔に似合わず……  
俺のよりデカイんじゃないか？

ぶぶん

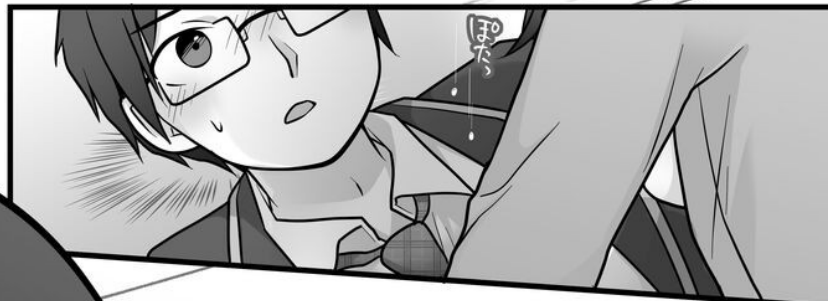


痛てえ！  
コイツ処女かよ！

じわ……  
いっ……  
けこのままいくぞ！

いっ……  
いっ……  
いっ……

ズキッ





ははっ！

おい、目から  
涙が勝手に  
出てきやがった！

俺は悲しくも  
なんともないのに！

ズッ  
ズッ  
ズッ

このカラダが  
お前との記憶を  
思い出して泣いてる  
みたいだなあ、おい！



る、瑠璃さん  
ごめん……  
ごめんなさい……っ

おら、もつと  
ピストン早くするぞっ！

イけっ！  
イっちまえよお♡

瑠璃さん……  
ダメだ、  
イっちやだめだ……

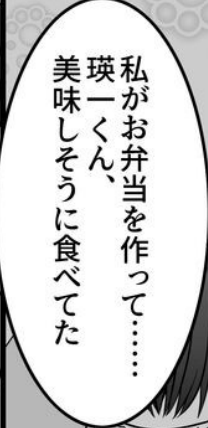
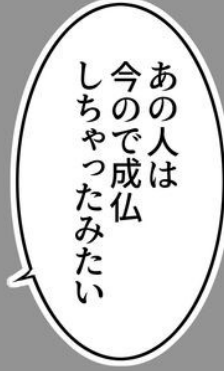
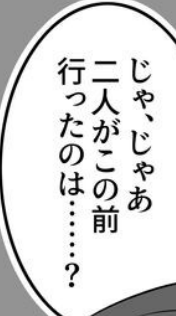
△ちゅ  
△ちゅ

△ちゅ

ピッ  
ピッ  
ピッ

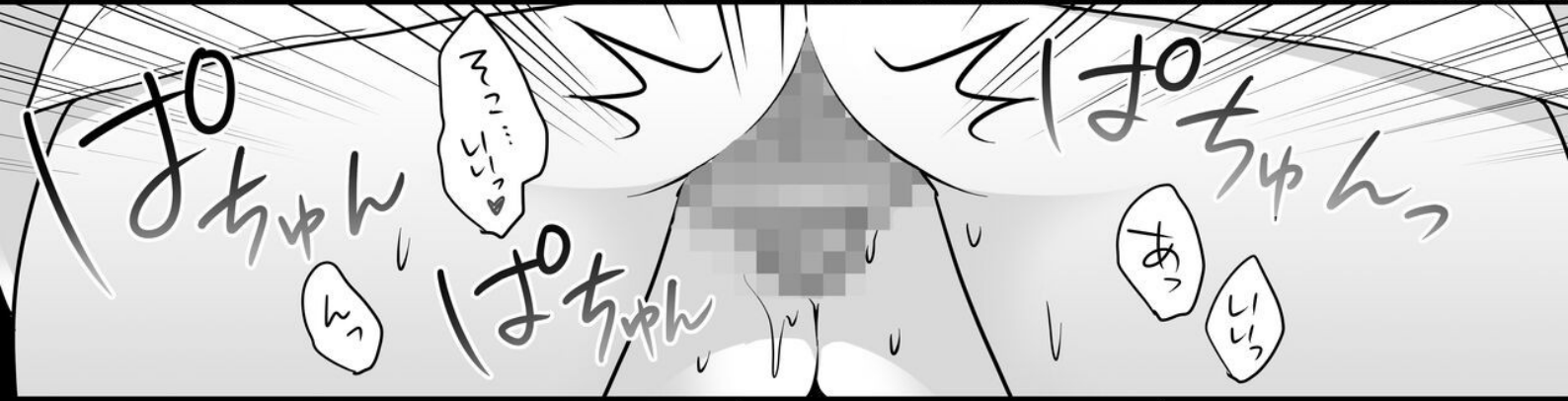


















瑠璃さんを返せっ！  
瑠璃さんを……

キヤッ

やめて  
瑛一くん！



ま、気を  
落とすなよ

記憶も「私」……  
っていうか瑠璃なんだし  
俺が実質瑠璃みたいな  
もんだろ？

ほん

ふざけるな……



はっ



本当にお前  
この女に  
弱いのは

はっ……

……



まあ、飽きたら  
このカラダから  
出て行ってやるからよ

それまでは  
よろしくな！



サラ...

ふわ...  
ふりちゃん?!

.....!

今日も放課後.....  
あの場所で待ってるぜ  
瑛一くん♡

END